

2014年2月3日

各位

会社名 東京センチュリーリース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
 (コード番号 8439 東証1部)
 問合せ先 広報IR室長 松原 健志
 (TEL03-5209-6710)

2014年3月期 第3四半期決算の概要について

本日発表の2014年3月期 第3四半期決算について、その概要をお知らせいたします。

記

1. 2014年3月期 第3四半期決算の概要

- ・当第3四半期連結累計期間におきましては、今年度よりスタートさせた第二次中期経営計画(3ヵ年)に基づき「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指した取り組みを開始いたしました。
- ・営業基盤強化策として、2013年10月に持分法適用関連会社であった日本カーソリューションズ株式会社(以下「NCS」)を連結子会社とするとともに、持分法適用関連会社である台湾現地法人 統一東京股份有限公司が、中国においてオートリース会社の設立を決定するなど、国内外におけるオート事業の取り組み強化を推進いたしました。
- ・また、アイルランドに航空機リース関連の現地法人を設立するなど、海外ビジネスの拡大に関しても取り組みを強化してまいりました。
- ・事業の成果としては、NCSの連結子会社化などが寄与し、契約実行高が前年同期比13.1%増加の9,425億円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比11.5%増加の2兆5,393億円となりました。損益面については、売上高は前年同期比18.0%増加の6,069億円、営業利益は前年同期比32.3%増加の383億円、経常利益は同26.9%増加の417億円、四半期純利益は同27.6%増加の259億円となり順調に推移しました。

2. 財務ハイライト(連結)

	2012/12期 (12/4-12)	2013/12期 (13/4-12)	前年同期比		2014/3期 業績予想	
			増減額	増減率	進捗率	
売上高 (契約実行高)	5,145.2 8,331.0	6,069.2 9,425.5	924.0 1,094.5	18.0% 13.1%	7,700	78.8%
営業利益	289.9	383.5	93.6	32.3%	440	87.2%
経常利益	329.2	417.8	88.6	26.9%	480	87.0%
四半期純利益	203.0	259.0	56.0	27.6%	300	86.3%

	2013/3末	2013/12末	前期末比		営業資産増減内訳			
			増減額	増減率	2013/3末	2013/12末	増減額	
総資産 (うち現預金)	24,658.2 562.5	27,991.7 791.6	3,333.5 229.1	13.5% 40.7%	リース	14,739	17,190	2,451
営業資産	22,765.7	25,393.4	2,627.7	11.5%	割賦	2,016	2,042	26
純資産	2,336.7	2,777.5	440.8	18.9%	ファイナンス	5,559	5,661	102
自己資本比率	9.0%	8.8%	-0.2pt	—	計	22,314	24,893	2,580
					営業保証	452	500	48
					合計	22,766	25,393	2,628

※営業資産には営業保証を含みます。

3. 損益の状況（連結）

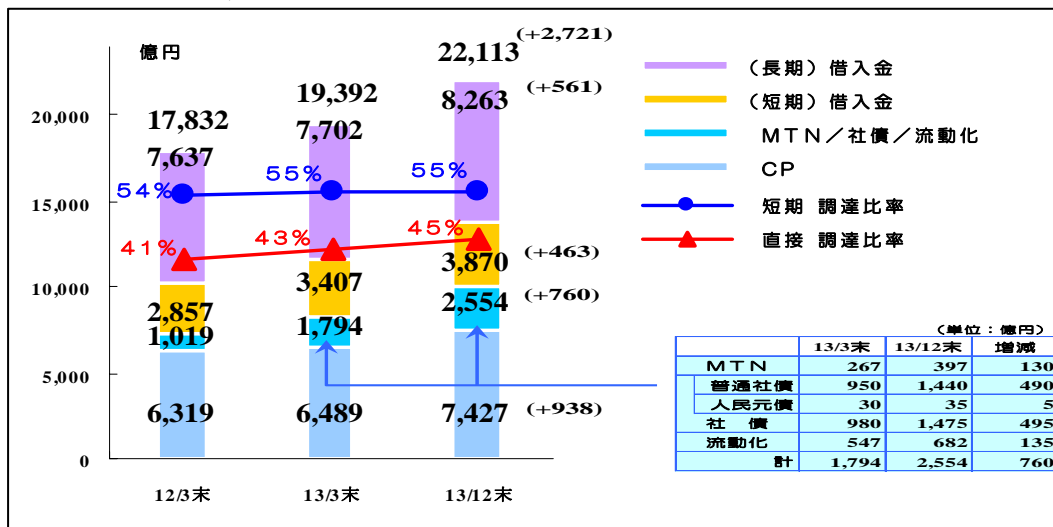
- ・ NCS の連結子会社化や資金原価の減少などを主因に、経常利益は前年同期比 26.9%増加の 417 億円となりました。また、四半期純利益につきましても、前年同期比 27.6%増加の 259 億円となりました。

（単位：億円）

	2012/12期		2013/12期	
	(12/4-12)	(13/4-12)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	5,145.2	6,069.2	924.0	18.0%
売上原価	4,640.9	5,379.1	738.3	15.9%
うち資金原価	75.7	68.0	-7.6	-10.1%
売上総利益	504.3	690.0	185.7	36.8%
販売費及び一般管理費	214.5	306.6	92.1	43.0%
うち貸倒費用	-6.8	-12.4	-5.5	—
営業利益	289.9	383.5	93.6	32.3%
営業外損益	39.3	34.4	-5.0	-12.7%
経常利益	329.2	417.8	88.6	26.9%
特別損益	-1.5	1.3	2.8	—
税金等調整前四半期純利益	327.7	419.1	91.4	27.9%
四半期純利益	203.0	259.0	56.0	27.6%

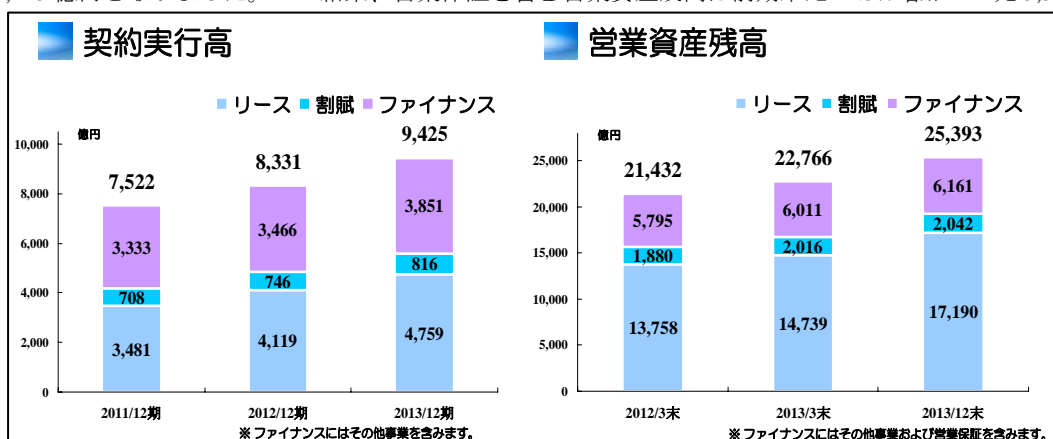
4. 資金調達の状況（連結）

- ・ 有利子負債残高は、NCS の連結子会社化などが影響し、前年同期比 14.0%増加の 2 兆 2,113 億円となりました。内訳としては、コマーシャル・ペーパーをはじめとする短期調達が前年同期比 14.8%増加の 1 兆 2,232 億円、長期調達が前年同期比 13.1%増加し 9,880 億円となりました。



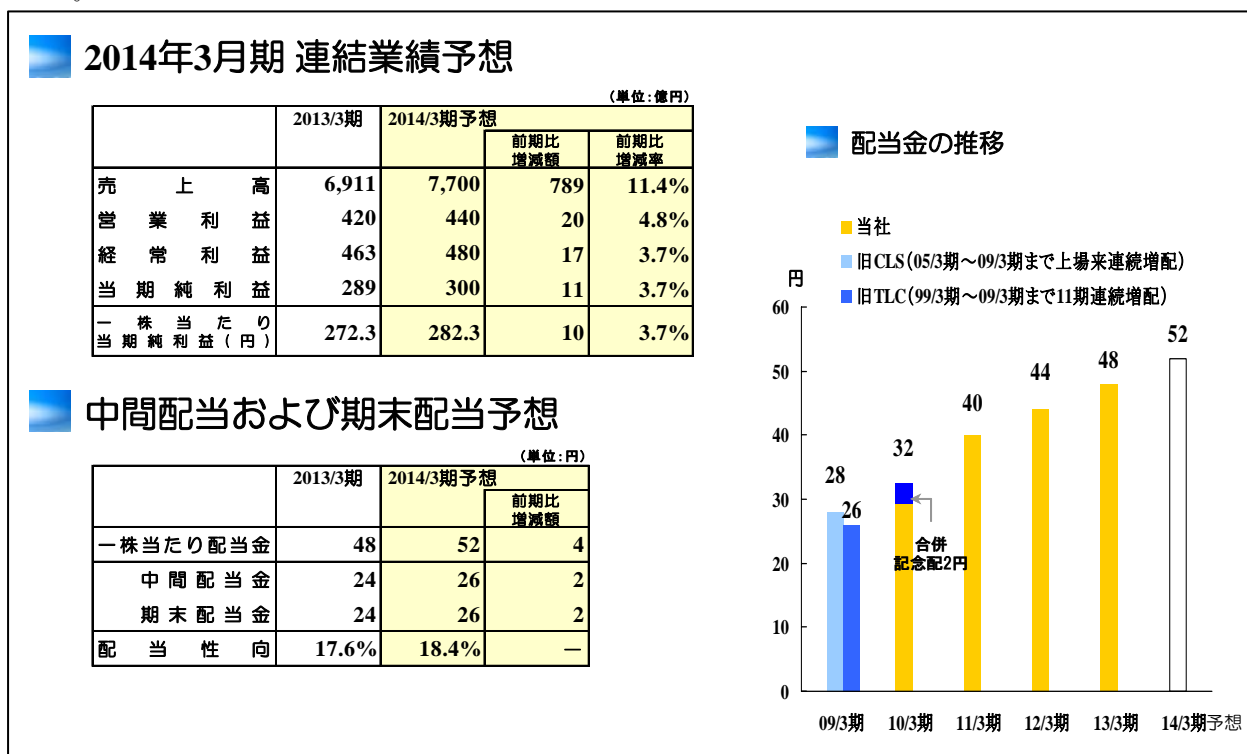
5. 営業の状況（連結）

- ・ NCS の連結子会社化およびファイナンス事業が引き続き堅調に推移したことから、契約実行高は前年同期比 13.1%増加の 9,425 億円となりました。この結果、営業保証を含む営業資産残高は前期末比 11.5%増加の 2 兆 5,393 億円となりました。



6. 2014年3月期 連結業績予想

- ・ 2014年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては、2013年5月8日に公表した数値から修正は行っておりません。



※ 本資料には現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来予測数値が含まれますが、実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご留意下さい。

以上